

製紙産業の変革のための共通ビジョン（部分訳）

ドラフト作成：Alliance for Environmental Innovation, Center for a New American Dream, Conservatree, Co-op America, Dogwood Alliance, ForestEthics, the Green Press Initiative, the Markets Initiative, Natural Resources Defense Council, the Recycled Products Purchasing Cooperative

2002年11月20日のEnvironmental Paper Summitにて合意

持続可能な環境と社会に向けた紙の生産と消費の変革のための目標

我々署名者は、製紙業界に対して、全製造工程における天然資源や化学物質の使用に関して「予防原則」を取り入れ、また人間の健康や環境に取り返しのつかないような被害を引き起こす可能性がある企業活動を控えることを要求する。健全な環境を享受する地域社会の権利、有益な雇用のための労働者の権利、伝統的な土地を管理し文化的なアイデンティティを守る先住民の権利は重要な考慮事項である。我々は、以下の目標を達成すべく、また、環境面でも社会面でも持続可能な紙の生産と消費のシステムのために、製紙業界、商社、ユーザー企業のほか、政府に対しても、これらの目標を達成するよう働きかける。

紙の使用を最小限に

- ・ 紙の過剰消費や、無駄な使用をなくす。

クリーン生産

- ・ 原料の生産及び調達、パルプ生産、紙生産、輸送、消費及び廃棄を含む、紙生産システムの全行程において、水、エネルギー、木材、化学物質の使用のほか、大気・水質・廃棄物汚染、温排水による複合的な影響を最小限にする。
- ・ 紙パルプ工場から排出される有害物質、漂白用の塩素及び塩素化合物の使用を停止する。

責任ある原料調達

- ・ Endangered Forestを脅かす原料の使用を停止する（いかなる伐採や商業利用も、取り返しのつかないような損害をその保護価値に与える恐れがある、稀少な、消失の恐れがある、生態学的に傷つきやすい森林や、生物学的・文化的観点から世界的に重要な森林が存在する）。
- ・ 天然林生態系の皆伐や、製紙原料のための植林への転換を停止する。
- ・ 古紙以外の製紙用バージン原料を調達する際は、環境及び社会的に最も厳しい義務が課せられた森林管理と保護を行なっている、独立した第三者機関が認証した森林管理者から調達する（森林管理協議会（FSC）は、この目標に近く、容認できる唯一の国際的な認証制度である）。
- ・ 包括的かつ確かな分析によって、他のバージン原料よりも環境及び社会的に見て望ましいことが明らかになった製紙用作物を利用する。
- ・ 植林や製紙原料の生産時に、殺虫剤や除草剤、肥料の広域使用を行なわない。
- ・ 遺伝子組み換え（特に、他の動植物種から取り出された遺伝子を移植した樹木など）による製紙用原料を利用しない。

古紙利用率を最大限に

- ・ バージン原料のみで生産された紙を削減し、基本的に木質バージン原料への依存を減らしていく。
- ・ すべての紙や紙製品において、市中回収古紙の割合を最大限にする。
- ・ 紙の原料として、他の再生原料の使用を増やす（例：農業副産物や産業古紙）。